

6 ICTを活用した授業の充実

子どもにとって「わかりやすい授業」を実現するため、教員が効果的にICTを活用するとともに、子どもがICTを活用しながらともに学び合う場を設定する必要がある。

そのためには、各学校のICTコーディネーターを中心として組織的に校内研修を行い、教員のICT活用指導力の向上を図ることが重要である。

(1) 教員によるICTの活用

- 授業における効果的なICT活用
 - ・ 従来の指導技術にICTの特性を生かした指導を取り入れることによって、授業の流れを再構成し、授業の質を向上させる。
- ICTコーディネーターによる推進体制の整備
 - ・ ICTコーディネーターを中心として、学校全体のICT活用を推進する。
 - ・ ICT環境整備や運用の工夫をしたり、効果的な活用についての校内研修会を実施したりすることで、教員のICT活用指導力向上を図る。

ICTを活用した授業づくり 《3つのポイント》

これまで行ってきた授業の補完的ツールとして、ICTを活用する。

- ① 活用のねらい
- ② 活用場面
- ③ 活用方法



(2) 子どもによるICTの活用

- ・ インターネットやプレゼンテーションソフトなどを活用して、子どもが自ら調べたり自分の考えを発表したりすることで、問題の解決を図るような学習活動を展開する。
- ・ 子どもがノートを書画カメラで大きく映して意見交換をするなど、ICTを学び合うためのツールとして活用することで、コミュニケーション力を向上させる。



(3) 情報モラルの向上

- 学年や子どもの実態に応じた情報モラル教育を計画・実施し、情報社会に参画する考え方や態度を身に付けさせる。

教育の情報化の3要素

教育の情報化の3要素を通して、教育の質の向上をめざしていく。
この実現のためには、ICT環境整備と研修による教職員のICT活用指導力の向上が重要である。

1. 教科指導におけるICT活用

- 興味・関心・意欲の喚起
- 知識・理解の定着
- 各教科の目標を達成するためのICT機器の活用

2. 情報教育

- 情報活用の実践力
- 情報の科学的な理解
- 情報社会に参画する態度

3. 校務の情報化

- 校務の効率化
- 事務負担軽減、子どもと向き合う時間の確保
- 情報セキュリティの向上

※ 詳しくは「教育の情報化に関する手引」「教育の情報化ビジョン」「教師のICT活用指導力のチェックリスト」(文部科学省)を参照。